

1 須賀川市の概要

(令和4年4月1日現在)

人口（住民基本台帳）	73,898 人
世帯数（住民基本台帳）	27,556 世帯
高齢化率	29.3 %
面積	279.43 平方キロメートル

2 重層事業に取り組んだ背景、取組の理念

・地域社会が急速な少子高齢化の進行や地域住民のつながりが希薄化している中、福祉に関する問題が複雑化・複合化（社会的孤立、ダブルケア世帯、8050世帯等）の傾向にあり、支援が困難化しているため、高齢者、障がい者、子育て、生活困窮など幅広い分野の横断的連携や地域の支え合いを築いて、社会全体で支え合う「地域共生社会」の実現が求められています。

・須賀川市では、令和3年度に「須賀川市重層的支援体制整備事業実施計画」を策定し、令和4年度から事業を開始しました。

この事業は、『関係機関の横断的な連携』と『福祉の地域づくり』を2つの大きな柱として『地域の全てがつながり』、支援のネットワークを築いて地域社会全体の支え合う力が高まることにより、「福祉のセーフティネット強化」を目指します。

3 主要な取組事項

・市（担当：社会福祉課）では、令和元年度から厚生労働省モデル事業「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」に取り組み、須賀川市社会福祉協議会に委託し、令和元年度から専任の相談支援包括化推進員2名を配置し、令和2年度から須賀川市社会福祉協議会内に「福祉まるごと相談窓口」を開設しています。高齢者・障がい者・子ども・生活困窮等の各分野の総合支援窓口であるとともに、地域の幅広い分野の支援が連携するための調整役と地域住民同士のつながりを築くためのつなぎ役を担い、「相談支援」・「参加支援」・「地域づくり支援」の取組みを推進しています。

・地域の住民同士のつながりを築くための拠点づくりとして、全ての地域住民を対象とする「地域食堂」や「コミュニティカフェ」を運営する地域ボランティア団体の立ち上げや運営について、「福祉まるごと相談窓口」が支援します。

地域の交流・居場所となる「地域食堂」や「コミュニティカフェ」は、地域住民が集まることにより、『ゆるやかな地域のつながりから住民同士で気づかい合う関係性に発展し、課題を抱える人を早い段階で支援に結び付ける』など、支援のネットワークに重要な役割となります。